

第3回キャビネット会議

上半期報告及び伝達事項等

SPC・FWT委員長 窪田 光子

1. 会員増強報告(1月末日)

地区合計27名増(内 **女性10名**)

【鹿児島リジョン】

- ▶ 期首からの会員増強数
- ▶ 総会員数 11名
- ▶ 内 女性会員数 6名
- ▶ 男性会員数 5名
- ▶ 家族会員数 **-4名**

【沖縄リジョン】

- ▶ 期首からの会員増強数
- ▶ 総会員数 16名
- ▶ 内 女性会員数 4名
- ▶ 男性会員数 12名
- ▶ 家族会員数 **±0名**

ライオンズクラブ様資料

小児がん病院支援
プロジェクト

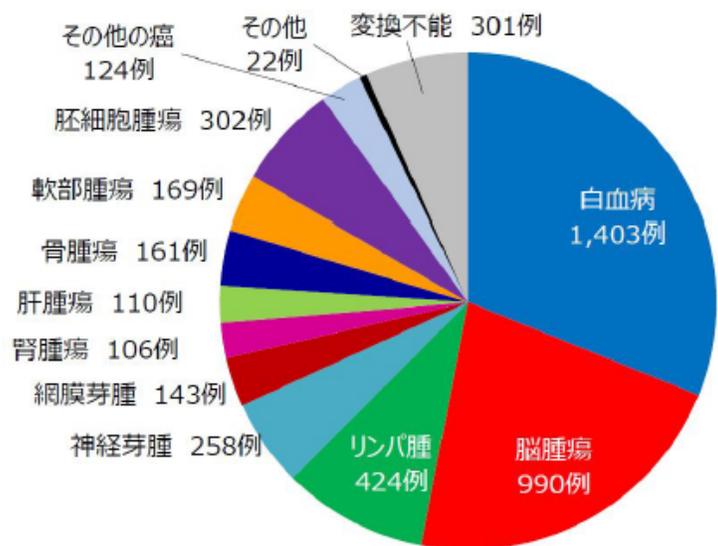
ウィッグ
ドネーション
プロジェクト



脱毛を伴う治療を受けている小児がんの数？

(図1) 国際小児がん分類に基づく大分類 (0~14歳)

自施設初回治療開始例 4,513例 (2016-2017年)



(SEER2008年版準拠)

参考資料

国際がん研究センター

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2019/1018/index.html

データ資料 2016~2017

※全国のがん診療連携拠点病院等をはじめとするがん専門施設において実施されている2016年および2017年の院内がん登録のデータを集計



脱毛を伴う治療を受ける小児がんの数

抗がん剤治療、頭部への放射線治療に該当する病名

- ・ 白血病 年間 約700件
- ・ 脳腫瘍 年間 約440件
- ・ リンパ腫 年間 約210件

年間1300人以上

2016年~2017年の小児がん(0~14才)分類からもお分かりいただけるように、小児がんの中でも抗がん剤治療や頭部への放射線治療を受ける子どもたちは年間1,000人以上います。

さらに15才~18才のAYA世代も含めると小児がん拠点病院とがん専門施設だけでも1,300人以上は想定されます。(※全国の小児がん数ではありません)

こんな時、子どもたちは不安やストレスを感じます

1. 脱毛が始まった時
2. 急に検査が決まり外来診療で病室を出る時
3. 外泊や外出許可が出た時
4. 学校のオンライン授業に参加する時
5. 親戚や祖父母にテレビ電話で話す時

寄付対象の病院(暫定)



北海道ブロック ・北海道大学病院様	東北ブロック ・東北大学病院様	関東・甲信越ブロック ・国立成育医療研究センター様 ・東京都立小児総合医療センター様 ・埼玉県立小児医療センター様
東海・北陸ブロック ・名古屋大学医学部附属病院様 ・静岡県立こども病院様	近畿ブロック ・京都府立医科大学附属病院様 ・京都大学医学部附属病院様 ・兵庫県立こども病院様	中国・四国ブロック ・広島大学病院様
九州・沖縄ブロック ・九州大学病院様	他 小児がん病院を一般公募 3件	全15拠点×肌優ウィッグ10台 合計150台目標

一般寄付でのプロジェクトでは小児がん病院拠点病院と他小児がん病院を併せて150人分の寄付を目標としております。
ライオンズ様につきましてはプロジェクト終了後も寄付をお受けし、随時全国の小児がん病院へウィッグを届けて参ります。

寄付させていただいた病院様からのご感想

多くの子が外泊や一時退院の行き来の際に装着しています。
学校の先生との面談の際に大活躍をしたケースもありました。
気軽に被ることができ、オシャレができるのも楽しみになっているようです。
被っていても痒くないところ、また、気楽に装着できるという点も良かったそうです。

何よりも子どもたちとご家族が喜んでいらしゃったことがスタッフとしても嬉しかったです。

ご寄付を頂けたことがきっかけで、スタッフにも皆さんのご支援について周知ができましたし、

子どもたちとスタッフの会話も弾みました。

子どもたちやご家族にとって脱毛は本当につらいものであることを間近で見ていると感じています。

脱毛に対して病院職員では支援ができない部分がありますが、そこをつな髪さんにご支援を頂き、本当に有難いと感じております。

今後とも末永いご支援を頂ければ幸いです。

東北大学病院様より

東北大学病院様



寄付させていただいた病院様からのご感想

治療により、脱毛が気になりだした時にウィッグを必要とされる方が多く、病棟外の検査、リハビリに行くとき、院内学級へ登校するとき、オンライン授業参加時、一次退院の時などに使用されています。

ウィッグを被ることによって、お子さんたちの自信と笑顔が戻り、行動範囲も広がったように思います。

また、治療中であっても、七五三や入学式、卒業式などの写真が撮れたと喜ばれているお子さんや保護者の方の声も多いです。

肌優は軽くて、手入れがしやすいので気軽に使えるようです。

病院としても大変有難く今後も継続してこの活動を行って欲しいと希望しております。

(京都大学医学部附属病院がん相談支援センター様より)

京都大学医学部附属病院様



寄付させていただいた
肌優ウィッグ



寄付させていただいた病院様からのご感想

治療が始まるタイミングでつな髪ウィッグのことをご家族にお伝えしています。

体調や治療の経過によって外出・外泊許可や検査、妊よう性温存の機会は急に決まることがあるので、必要な時にすぐに渡せる肌優ウィッグはとても喜ばれています。

病棟を出て検査に行く時や外来受診の時に使用しているお子さんもいらっしゃいます。

私たちも様々なケースで肌優ウィッグがご家族の助けになっていると感じています。

(兵庫県立こども病院がん相談支援室様より)

兵庫県立こども病院様



3. ウィッグドネーションプロジェクトについて

(小児がん支援)

〈背景〉

- ・ウィッグなしでの外出に不安を抱えている。
- ・金銭的な問題でウィッグの用意が難しい。
- ・入院生活が長い小児患者は、ウィッグを持たないケースが少なくない。
- ・
- ・
- ・

〈目的〉

小児がんで入院しているこどもたちを笑顔に！

※ 院内にウィッグの用意があれば、子供たちは安心して入院生活を送れ、家族の負担も軽減できる。

337-D地区SPC・FWT奉仕事業

- ①ヘアードネーション活動
- ②タンスに眠る外貨の活用
- ③子どもの未来古本募金活動
- ④ワンショット・ワンライフへの取り組み
- ⑤災害支援への取り組み

※ 下期より

⑥ウィッグドネーションへの取り組み

(小児がん支援)

→1人1ドル相当のドネーション

※ 一般財団法人日本ライオンズへ

4. レモネードスタンド(仮)開催予定 (小児がん支援プロジェクト)

【目的】 アピアランスケアの支援

がん患者へのアピアランスケアは近年認知されるようになり、メイクアップや医療用ウィッグ、ネイル、乳がんケアなど、拡充しつつあります。しかしながら、小児がんのアピアランスケアはまだまだ十分だとは言えず、今後の課題となっています。そのため、これから脱毛時の子どもたちの心のケアに十分対応できるだけのウィッグが院内に常備されるよう、アピアランスケアの支援への充実を図るために、小児がん支援プロジェクトとしてレモネードスタンド(仮)活動を実施する。

【開催予定日】 2022年4月16日(土)

【開催場所】地区年次大会会場:鹿屋市文化会館

5. SPC・FWTクラブ活性化研修会 並びにSPC・FWT委員会開催

～SPC・FWTクラブ活性化研修会～

【開催日】2022年2月23日(水・祝)

【会場】鹿兒島市国際交流センター

【時間】 10:00～11:30

【出席者】 地区役員・副委員長、キャビネット委員、クラブ会長・第一・第二副会長・クラブSPC・FWT委員、入会5年未満会員(入会5年未満会員に関わらず、若手ライオンで参加希望される方は、ぜひご参加ください。)

※ZOOM併用にて開催

～SPC・FWT委員会～

【開催日】2022年2月23日(水・祝)

【会場】鹿兒島市国際交流センター

【時間】 11:30～12:00

【出席者】 **クラブSPC・FWT委員**

【その他】主として、レモネードスタンド(仮)の前準備及び当日の役割担当を決めたいと思いますので、クラブSPC・FWT委員が参加できない場合は、代理を立てられるようお願い致します。

※ZOOM併用にて開催